

株主のみなさまへ

利益ある成長とESG活動の両輪で、 グローバルで存在感のある会社をめざします。

株主の皆さまには、日頃、当社グループの事業活動・企業活動に格別のご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期累計期間(2018年1月から同年6月まで)において、当社グループの主要市場である日本のトイレタリー(化粧品を除くコンシューマープロダクト)および化粧品市場は、堅調に推移しました。いずれの市場においても、Eコマースチャネルの構成がさらに高まり、インバウンド需要(訪日外国人による需要)は引き続き伸長しました。また、トイレタリー商品の平均単価は、前年同期に対して1ポイント上昇しました。

市場堅調の中、競合関係は厳しさを増しており、難しい事業環境となっております。このような状況において、化粧品事業の改善やアジア事業の増収効果などにより、ほぼ予定線で推移することができました。

当第2四半期累計期間の配当金は、前年同期に対して6円増配の1株当たり60円といたしました。

当社グループは2030年までに、①特長ある企業イメージの定着、②高収益グローバル消費財企業(売上高2.5兆円(うち海外1兆円)、営業利益率17%、ROE20%をそれぞれ超える)、③ステークホルダーへの高レベル還元という目標を達成させ、グローバルで存在感のある会社「Kao」になりたいと考えており、当社グループが今後も持続的に成長するためには、財務的な戦略・取り組みだけでなく、非財務的な戦略・取り組みも、経営上の最も重要な課題の一つと位置づけております。

当社グループは、ESG(環境、社会、ガバナンス)への取り組みをコストでなく、将来への投資と位置づけ、長期的な成長と企業価値の向上をめざしております。今年7月には、よりグローバルな視点でESGを戦略的に推進するため、社長直轄の「ESG部門」を新設しました。当社グループは、

花王らしいグローバルなESG活動を「Kirei Action」と名づけ、思いを込めたモノづくりで「コト」を創造し、すべてのステークホルダーの「ココロ」に届けることで、グローバルで持続的な成長につなげてゆきたいと考えております。

当社グループは、企業理念である「花王ウェイ」に掲げる「正道を歩む」を貫くことを全員で共有・実践しながら、「自ら変わり、そして変化を先導する企業へ」という中期経営計画「K20」のスローガンを自分事化させ、利益ある成長と社会のサステナビリティへの貢献の両立をめざしてまいります。

株主の皆さまには、こうした当社グループの事業活動・企業活動に引き続きご理解をいただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年8月



花王株式会社
代表取締役
社長執行役員

澤田道隆

花王らしい ESG 活動

Kirei Action

事業の持続的成長、持続的な社会の形成のために、
環境 (Environmental)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) といった
ESG 活動を将来への「投資」と位置づけ、これまで以上に重視しながら
“利益ある成長” を実現します。

130年にわたり、人々の暮らしに寄り添うことで
豊かな生活文化の実現をめざしてきた花王では、
いまも、そしてこれからもこの使命を全うするために、
Kirei Action を推進していきます。

“きれい” という言葉には、美しさや清潔だけでなく、
こころの状態や地球環境への思いも込められています。
こころを込めた製品や活動を通して、
人と地球の未来に貢献する活動。
それが花王の推進する Kirei Action です。

花王は ESG 活動 (Kirei Action) に
積極的に取り組み、
思いを込めたモノづくりで
「コト」を創造し、
すべてのステークホルダーの
「ココロ」に届けます。

Environmental

地球の
“きれい” のために
環境負荷ゼロの暮らし



Social

人の
“きれい” のために
誰もが気持ちよく暮らせる社会



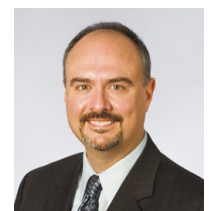
Governance

誠実な
企業として
正道を歩み、信頼される企業に



ESG 部門 統括からのメッセージ

2030年までに達成したい姿であるグローバルで存在感のある会社「Kao」の実現に向けて、自ら変わり、そして変化を先導する企業としての大きな取り組みの一つが ESG 活動です。倫理的な考え方や消費が広がる中、花王は財務的な戦略・取り組みだけでなく、非財務的な戦略・取り組みである ESG 活動を強化し、環境や社会にポジティブに寄与する長期的な価値創造に注力していきます。キーメッセージ「きれいを、こころに。未来に。」のもと、花王グループ社員一丸となって、花王ならではの Kirei Action をグローバルに推進していきます。



ESG 部門 統括
Dave Muenz
(デイブ マンツ)

2018年度上半期のトピックス

資源循環に向けた新しい活動「リサイクリエーション®」を複数の地域コミュニティで実施

花王では、容器包装の新しい資源循環を目的とした研究に取り組んでいます。2015年度からは「リサイクリエーション※」という新しい考え方と仕組みを提案。地域の皆さまを主体に、さまざまな企業も参画し、ともに価値検証を始めています。

その一つとして、宮城県の女川町で、2017年には3カ月間で、洗剤やシャンプーなど、使用済みのつめかえパック約3,500枚を回収し、樹脂製の「おかえりブロック」約350個に再生加工しました。「女川町復幸祭2018」では「リサイクリエーション」コーナーを設置し、約150人の地域の皆さまに「おかえりブロック」を体験いただきました。

※「リサイクル」と「クリエイション」を合わせた新しい言葉。使い終わったものに、技術やさまざまな人の知恵・アイデアを加え、新たな価値を生み出す活動です。「リサイクリエーション」は、花王の登録商標です。



自由な発想でブロックを組み立てる子どもたち



ベトナム ユニセフとの学校衛生プロジェクト

世界中の子どもたちが正しい生活習慣を身につけ、安心した毎日を過ごせることをめざし、花王では学校教育を通じた衛生についての啓発活動を行なっています。経済格差が大きいベトナムでは、ユニセフの行なう「学校衛生プロジェクト」を支援し、アンザン省で活動しています。支援4年目となる2018年には、学校のトイレや手洗い施設の改善も進み、児童の手洗い習慣も定着してきました。さらに、近隣の家庭のトイレ環境なども整備され、確実に成果が出てきています。花王は、2020年までに60校35,000人の児童への支援をめざして活動を続けていきます。



正しい手洗いを学ぶ子どもたち

「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー®」大賞に選定

一般社団法人日本取締役協会が主催する「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー※」において、花王は昨年のWinner Company（受賞企業）に続き、Grand Prize Company（大賞企業）に選定・表彰されました。ガバナンスに対して早期から取り組み、守りだけでなく攻めのガバナンスでも高いステージに進んでいると評価いただきました。花王は、企業理念「花王ウェイ」の一つに掲げる“絶えざる革新”をコーポレートガバナンスにおいても実践するとともに、今後も引き続きコーポレートガバナンスの向上に努め、企業価値の継続的な増大をめざしていきます。

※「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー」は、一般社団法人日本取締役協会の登録商標です。



一般社団法人日本取締役協会 宮内義彦会長(左)
当社 代表取締役 社長執行役員 澤田道隆(右)

株主さま向け見学会・会社概況説明会

2018年6月、株主さま向け見学会を川崎工場(神奈川県)、花王ミュージアム(東京都)、花王エコラボミュージアム(和歌山県)で、また大阪では会社概況説明会を開催し、抽選で選ばれた株主さま合計597名が参加されました。川崎工場では製造工程を、花王ミュージアムでは当社および清浄文化の歴史を、花王エコラボミュージアムでは地球環境に関する展示や当社のエコ技術などをご覧いただきました。また、株主さまとの対話を目的とした会社概況説明会では、事業概況、化粧品事業の今後の方向性、非財務的な活動(ESG活動)などについて社長より説明を行なった後、株主さまからのご質問にお答えしました。



花王エコラボミュージアム見学会の様子

このたびの「平成30年7月豪雨」(西日本を中心とした豪雨災害)により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申しあげますとともに、被災されました皆さまには心よりお見舞いを申しあげます。花王グループでは被災者支援のため、日本赤十字社を通じて2,000万円を寄付しました。また、行政と連携を取りながら状況に応じて必要な製品提供などの支援を行なっています。

■ 新製品のご紹介



「KATE」から、ロング、ボリューム効果だけではなく、自まつ毛に美しいカーブをクセづける機能が加わったマスカラの進化形「まつ毛 クセづけフォーマー」が誕生しました。業界初^{*}、まつ毛を内側から固定する浸透系カーブフィクサー成分(リンゴ酸、ナフタレンスルホン酸Na)を配合。まつ毛内に浸透し、内側からカーブを固定することで、メイクするたびに自まつ毛が上向き仕上がりを実現しました。

※リンゴ酸、ナフタレンスルホン酸Naをまつ毛化粧料に採用することで、まつ毛の内側からカーブ形状を保持できる独自の処方(Mintel Japan 社データベース内 2018年3月当社調べ)

担当者からのひとこと



カネボウ化粧品

遠藤 舞憂子

魅力の源である「輝く瞳」を演出するには上向きまつ毛が重要です。まつ毛自体をクセづける機能を持つラッシュフォーマーで、ぜひカーブのクセづきを体感してみてください。

リライズ
Rerise
白髪用髪色サバー^[染毛料]



伸びてくる白髪の悩み。気になる時にいつでも白髪をケアできたら…。そんな思いにこたえる次世代型白髪ケア^{*1}「リライズ 白髪用髪色サバー」を発売しました。黒髪が本来持つ色素「メラニン」に着目。100%天然由来の「黒髪メラニンのもと^{**2}」だけで染められ、お風呂で簡単に使えます。髪を傷めず、ハリ・コシ・ツヤをあたえます。

※1 花王の白髪ケアにおいて、浴室内で使用するジヒドロキシインドール(着色成分)を配合した染毛料
※2 着色成分(ジヒドロキシインドール)

担当者からのひとこと



ヘアケア事業部

峯 吉 俊之

白髪に悩みを持つすべての方に、健康的な印象を与える美しい髪色を。そんな想いでリライズは生まれました。これまでにないデザイン、使いやすさ、すべてにこだわりました。ぜひお試しください。

■ 変化をつくり出すことへの挑戦

～使いやすく、環境にも配慮した新容器の開発～

花王は、1991年から商品のつめかえ使用の提案を行っており、食器用洗剤からボディソープやシャンプーまで展開するなど、つめかえ容器の使いやすさの改善を繰り返してきた歴史があります。しかし、改善を重ねても、上部左角の先端を少し切って注ぐ従来品には「中身を押し出しにくい」という声が多くありました。そこで、2017年から抜本的に見直しを行ない、約4年かけて「ラクラクecoパック」を開発しました。フィルムの下にマチが付いたボトルのような形状で、キャップ付きで開けやすく、本体容器に逆さまにセットすることができ、安定した状態でつめかえが可能となりました。環境面からも、従来品と比べプラスチックの使用量は約半分、さらに製造から廃棄までのCO₂排出量を約3%削減することに成功しています。



スマートホルダー

2017年には「ラクラクecoパック」に直接ポンプをさして使用する「スマートホルダー」を販売しました。「スマートホルダー」を使用することにより、「ラクラクecoパック」の中身を最後までストレスなく使い切ることができます。「スマートホルダー」はつめかえの手間を省くだけでなく、プラスチックの使用量も大幅に減らしていることから、環境意識の高い消費者を中心に高いご評価をいただいています。



医薬部外品(液体ハミガキ)
口臭・歯周病(歯肉炎・歯周炎)予防

歯周トラブルケア(ネバつき浄化/口臭、歯肉炎予防)ブランドとしてご支持をいただいている「ピュオーラ」から、泡タイプのハミガキ「薬用ピュオーラ 泡で出てくるハミガキ」を発売しました。数十年にわたる口腔内の研究から不快な口臭の原因の一つである舌の上の菌に着目。「泡」を舌の上に直接のせるという新提案で、舌の上まで殺菌し、口臭を防ぎます。

担当者からのひとこと

パーソナルヘルス事業部
多田 佳祐

歯周トラブルケアが気になる方に向けたブランド「ピュオーラ」から、「薬用ピュオーラ 泡で出てくるハミガキ」を発売し、お客さまからご好評の声をいただいています。舌に泡をのせて歯を磨く、新しいオーラルケアをぜひお試しください。



汗をかいた瞬間から衣服を脱ぐまで、24時間ニオイを防ぎ、ベタつきも防ぐ「ハミングファイン」シリーズから、新しく「ハミングファイン 部屋干しEX」を発売しました。部屋干し中はもちろん、着ている最中までしつこい生乾き臭を徹底防臭。高まる部屋干しニーズにこたえた、専用の柔軟剤を提案いたします。

担当者からのひとこと

ファブリックケア事業部
上窪 正道

日中忙しく、お洗濯は部屋干しという方のニオイ悩みを少しでも解決したいという想いをこめてつくった柔軟剤です。部屋干しの際に、仕上がりの違いを実感してみてください。

つめかえ容器の変遷

1996



センター式
パウチ

1997



つる首
パウチ

1998



フック付
パウチ

2004



エンボス付
パウチ

2012



新ノズル
エンボス付パウチ

2013



アタック
つめかえ

2016

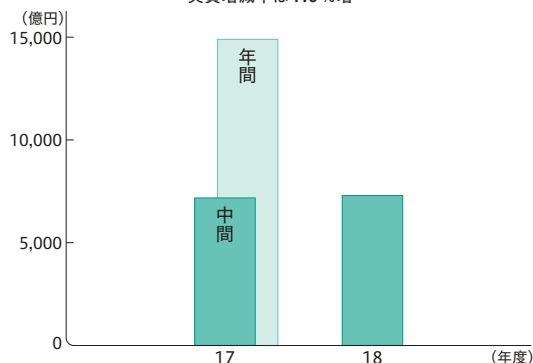


ラクラク
ecoパック

■ 連結業績ハイライト (2018年1月1日～6月30日)

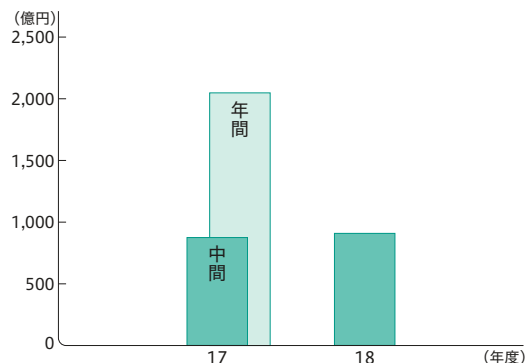
売上高 **7,290** 億円

対前年同期増減率 **1.6%** 増
実質増減率は1.0%増



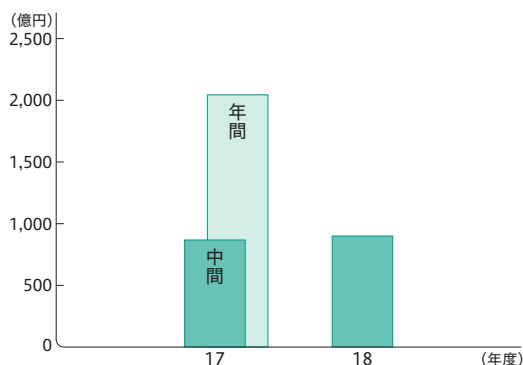
営業利益 **908** 億円

対前年同期増減率 **3.9%** 増



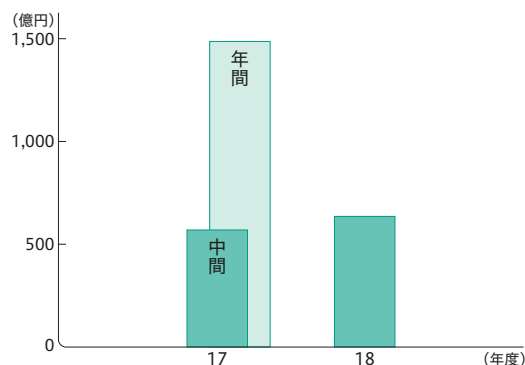
税引前利益 **899** 億円

対前年同期増減率 **3.7%** 増



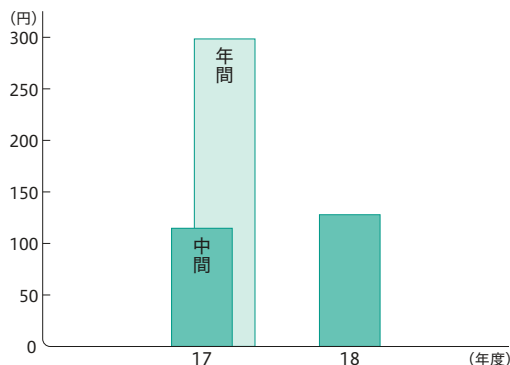
当期利益 **635** 億円

対前年同期増減率 **11.5%** 増



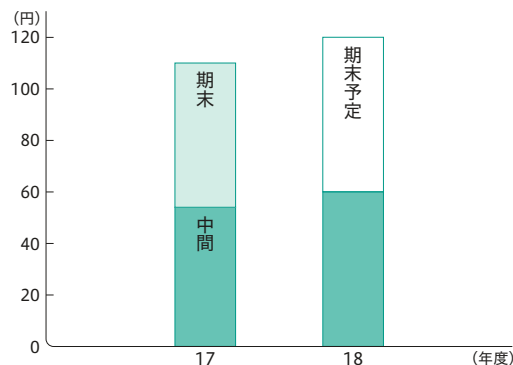
基本的1株当たり当期利益 **127.76** 円

対前年同期増減率 **11.5%** 増



1株当たり配当金 **60** 円

対前年同期 **6** 円増配



自己株式の取得

当社は、資本効率の向上と株主さまへの一層の利益還元のため、2018年5月1日から6月11日の期間に、当社普通株式6.2百万株を取得価額の総額500億円にて市場買付を実施しました。

(注) 記載金額は、億円未満を四捨五入して表示しております。

セグメント別事業概況

売上高
7,290 億円

化粧品事業

1,282 億円
(17.6%)

スキンケア・ヘアケア事業

1,708 億円
(23.4%)

ヒューマンヘルスケア事業

1,363 億円
(18.7%)

ファブリック&ホームケア事業

1,531 億円
(21.0%)

ケミカル事業

1,407 億円
(19.3%)

化粧品事業

事業内容

- 化粧品



セラミドケアの「キュレル」

トピックス

- 主にデパートチャンネルで展開しているカウンセリング化粧品の「SUQQU」や「RMK」、セルフ化粧品では、低刺激で和漢植物エキスを配合した「フリープラス」、乾燥性敏感肌ケア「キュレル」の売り上げが好調に推移
- 日本の中価格帯化粧品は市場が縮小しており、売り上げは前年同期を下回る
- 好調なアジアでは、中国を中心に売り上げが大きく伸長

スキンケア・ヘアケア事業

事業内容

- スキンケア製品
- ヘアケア製品



黒髪が本来持つ色素「メラニン」に着目した、花王の新しい白髪ケア「リライズ」

トピックス

- スキンケア製品では、日本、アジアで「ビオレ」が順調に売り上げを伸長。米国では、「ビオレ」は競合品の激しい攻勢を受けるものの、ハンド&ボディソリューションの「ジャーゲンス」が好調に推移
- ヘアケア製品では、日本で、高付加価値の次世代型の白髪ケア「Rerise（リライズ）」ブランドを立ち上げ、好調に推移。2018年1月に、ヘアサロン向けブランド「Oribe（オリベ）」を所有するOribe Hair Care, LLC（米国）の買収を完了

ヒューマンヘルスケア事業

事業内容

- サニタリー製品
- パーソナルヘルス製品
- フード&ビバレッジ製品



昼も！夜も！「ロリエ スリムガード」

トピックス

- ベビー用紙おむつ「メリーズ」は高付加価値化に取り組むも、昨年の中国での初期出荷の影響もあり、売り上げは前年同期に比べて減少。インドネシアでは、中間所得層向けの現地生産品が順調に売り上げを伸長
- 生理用品「ロリエ」は、日本、アジアで高付加価値品が好調に推移し、売り上げが伸長
- パーソナルヘルス製品の売り上げは堅調に推移。フード&ビバレッジ製品では、収益構造を立て直すために、販売チャンネルを絞るなどの改革を推進

ファブリック&ホームケア事業

事業内容

- ファブリックケア製品
- ホームケア製品



抗菌[®]水に変えよう
「アタックNeo 抗菌EX Wパワー」
※ニオイ菌に対して

トピックス

- ファブリックケア製品は、日本で競合との厳しい競争環境の中、売り上げはほぼ前年並みに推移。衣料用洗剤「アタック」は、「洗たく水を抗菌水に変える」という価値伝達の強化を図り、柔軟仕上げ剤では、防臭効果の高い「ハミングファイン」を改良
- ホームケア製品は、日本では、台所用洗剤や住居用洗剤などで売り上げが堅調に推移
- アジアではタイなどで高付加価値品の投入と店頭展開の強化を進め、売り上げが順調に推移

ケミカル事業

事業内容

- 油脂製品
- 機能材料製品
- スペシャルティケミカルズ製品



水性インクジェット用顔料インクでプリントした軟包装用フィルム

トピックス

- 油脂製品は、海外での需要が堅調なことなどにより、売り上げが伸長
- 機能材料製品は、インフラ関連分野の市況が回復基調にあることもあり、売り上げが伸長
- スペシャルティケミカルズ製品では、トナー、トナーバインダーが顧客の需要減の影響を受けたものの、2017年4月から連結子会社となった欧州のインク事業会社の貢献により、売り上げが伸長

(注) 1. 2018年度より、ビューティケア事業を化粧品事業とスキンケア・ヘアケア事業に区分し、従来4区分としていた報告セグメントを5区分に変更しております。
2. 記載金額は、億円未満を四捨五入して表示しております。
3. グラフの売上高は、外部顧客に対する売上高を表示しております。
4. グラフの()内は構成比を表示しております。

株主メモ

諸手続きのご案内・届出用紙のご請求

お手続きの内容	お問い合わせ先	
	証券会社の一般口座で保有される株式の場合	特別口座で保有される株式の場合
<ul style="list-style-type: none"> 住所、姓名などのご変更 配当金の受領方法のご変更 単元未満株式の買取、買増請求 マイナンバーに関する届出・お問い合わせ 	お取引のある証券会社	下記の当社特別口座の口座管理機関
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から証券会社の一般口座への振替請求 	下記の当社株主名簿管理人	
<ul style="list-style-type: none"> 払渡し期間経過後の配当金のお支払い その他のお問い合わせ 		

● 当社株主名簿管理人・当社特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

(郵便物送付先・電話照会先)

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-782-031 (受付時間：平日 9:00～17:00)

会社概要 (2018年6月30日現在)

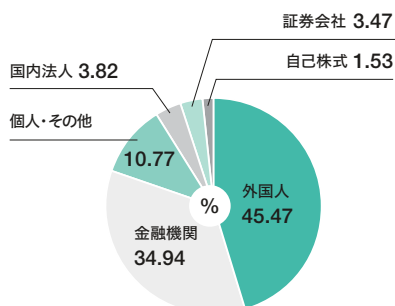
- 商号 花王株式会社 (Kao Corporation)
- 本店所在地 東京都中央区日本橋茅場町一丁目14番10号
- 創業 1887年6月19日
- 設立 1940年5月21日
- 資本金 85,424,265,916円
- 証券コード 4452

株式の状況 (2018年6月30日現在)

● 発行済株式の総数 495,000,000株

● 株主数 53,513名

● 所有者別株式分布



● 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	41,816	8.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	32,483	6.56
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	17,712	3.58
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	12,585	2.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	9,466	1.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	9,140	1.85
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティ 505234	9,081	1.83
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	8,006	1.62
東京海上日動火災保険株式会社	7,176	1.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	7,017	1.42

(注)当社は、自己株式7,579千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

花王株式会社

〒103-8210 東京都中央区日本橋茅場町1-14-10

<https://www.kao.com/jp/>

UD
FONT
by HIRAGINO